



2022年9月30日

各位

上場会社名 株式会社ショクブン  
 代表者 代表取締役社長 吉田 朋春  
 (コード 9969 東証スタンダード、名証メイン)  
 問合せ先責任者 経営企画室長 宮原 利彦  
 (TEL 052-773-1011)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

2023年3月期第2四半期累計期間業績及び2023年3月期通期業績予想について、2022年5月11日に公表した業績予想について下記の通り修正いたしましたので、お知らせします。

記

### 1. 業績予想の修正等について

#### (1) 2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年4月1日~2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,457	百万円 91	百万円 91	百万円 80	円銭 5.18
今回修正予想(B)	3,295	4	△11	73	4.77
増減額(B-A)	△162	△86	△102	△6	
増減率(%)	△4.7	△94.9	△112.2	△8.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	3,318	80	73	46	3.04

#### (2) 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,318	百万円 263	百万円 263	百万円 239	円銭 15.52
今回修正予想(B)	7,318	263	244	292	18.91
増減額(B-A)	—	—	△19	53	
増減率(%)	—	—	△7.2	22.2	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	6,875	254	252	221	14.37

#### (3) 2023年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2022年4月1日~2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,448	百万円 82	百万円 98	百万円 86	円銭 5.63
今回修正予想(B)	3,291	0	13	98	6.37
増減額(B-A)	△156	△81	△84	11	
増減率(%)	△4.6	△99.8	△86.2	13.1	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	3,330	46	66	44	2.87

#### (4) 2023年3月期通期個別業績予想数値の修正(2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,300	百万円 245	百万円 262	百万円 240	円銭 15.55
今回修正予想(B)	7,300	245	256	305	19.76
増減額(B-A)	—	—	△6	65	
増減率(%)	—	—	△2.3	27.1	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	6,857	236	256	232	15.07

## 2. 修正等の理由

### (1) 第2四半期連結累計期間業績予想

当第2四半期連結累計期間につきましては、食材をお客様にお届けするアドバイザーを中心とした人員の人手不足や急激な物価上昇などによる消費マインド低下の影響が大きく、当初の予算よりも売上が未達となる見込みです。4月より主力商品の販売価格を2.5%~5.0%値上げを実施しましたが、原材料費やエネルギー価格の高騰が予想をはるかに超える水準で推移した為、原価率が上昇いたしました。

営業外費用につきましては、支払手数料が増加し予算を上回りました。

また、本日付別途開示しております「固定資産の譲渡に関するお知らせ」に記載の通り、固定資産売却益を1億1千万円計上いたします。

これらの理由により、34億57百万円の売上高、4百万円の営業利益、11百万円の経常損失、73百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益となる見込みです。

### (2) 通期連結業績予想

通期の業績見通しは、第2四半期連結累計期間業績は未達となっておりますが、9月中旬より4月に続いて2回目となる約6%の値上げを実施しており、また、下期におきましては、新たなPB商品の販売、大手ECモールでの自社開発商品の取扱い開始、ふるさと納税返礼品事業への参入、BtoB取引の強化、年末商戦での売上増加を見込んでおります。

結果、売上高、営業利益におきましては従来予想を据え置き、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は第2四半期連結累計期間と同様の理由により修正いたします。これらの理由により業績予想を行った結果、73億18百万円の売上高、2億63百万円の営業利益、2億44百万円の経常利益、2億92百万円の親会社株主に帰属する当期純利益となる見込みです。

### (3) 第2四半期累計期間個別業績予想及び通期個別業績予想

個別の第2四半期累計期間業績及び通期業績予想につきましても、連結と同様の理由によりそれぞれ修正いたします。

※ 業績予想等につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上